

令和4年度

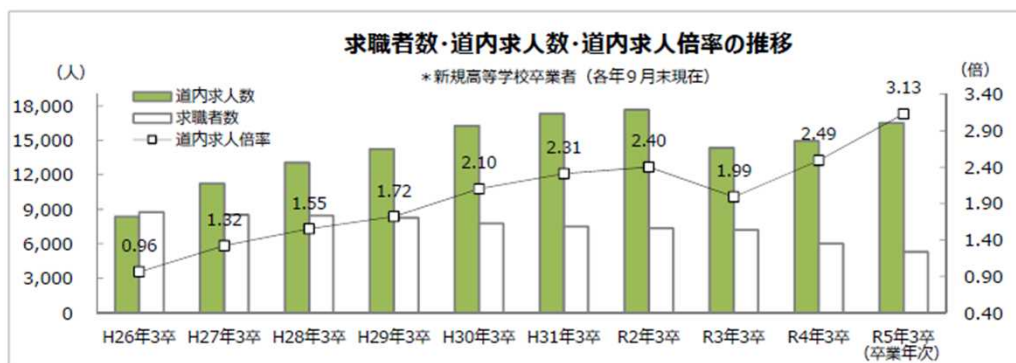
進路だより

北海道教育庁
学校教育局高校教育課
[第6号]
R 4.11.21発行

今年も残り2か月をきりました。3年生は進路実現に向けて、ラストスパートをかける時期、1・2年生は、少しずつ卒業後の進路について、具体化させていく時期となります。今号では、求人・求職状況やインターンシップなどについてお知らせしますので、参考にして下さい。

□ 求人・求職状況（9月末現在） □

北海道労働局が、令和4年10月28日に発表した、9月末現在の「令和5年3月新規高等学校卒業者の職業紹介状況」によると、道内における求人数は16,533人(前年同月比10.7%増)、道内求人倍率は3.13倍(同0.64ポイント増)であり、就職内定率は43.5%(同2.7ポイント増)となっています。



●雇用促進及びインターンシップ受入要請を実施

北海道教育委員会と北海道高等学校PTA連合会は、毎年、雇用促進及びインターンシップの受入について要請するため、合同で関係団体を訪問しており、今年度も10月下旬から11月上旬にかけて実施しました。その中で、企業が高校生に求めている資質について話題になりましたので、参考にして下さい。

○企業が高校生に求めている資質・能力

- ・コミュニケーション能力
(年齢の離れている社員と会話ができるか、分からない時や困った時に聞くことができるか)
- ・人間関係
(協調して仕事ができるか)



就職希望者へ

11月1日からは、1人2社まで応募することが認められています。受験先を1社に絞れない場合や、募集期間が重なっており、可否が決定してからでは応募できない場合などに、活用することができます。なお、受験する際には、内定をもらった場合、どちらの企業に就職するか、前もって決めておくことが大切です。

<志望動機を整理する際のポイント> ・なぜ、その業種、職種を希望するのか。(きっかけや目標など)
・なぜ、その会社を受験するのか。(魅力を感じた点や見学時の様子など)

進学希望者へ

11月からは、大学や短大の学校推薦型選抜が本格化します。国語や進路担当、担任の先生にお願いするなど、小論文対策を進めるとともに、面接での受け答えの内容を整理するなど、計画的に準備を進めましょう。

<志望動機を整理する際のポイント> ・なぜ、その学校を受験するのか。(魅力を感じた点や見学時の様子など)
・その学校で、何を学びたいのか。(学びたい内容や卒業後の見通しなど)

●「高校生による小・中学校等におけるインターンシップ」事業を、有効に活用しよう！



令和2年度から実施している「高校生による小・中学校等におけるインターンシップ」事業には、教員を志望する高校生が多数参加しています。

高校の教員を目指す生徒や、1・2年生も参加していますので、興味のある方は先生に相談してみてください。

令和4年度高校生の小・中学校等におけるインターンシップ実施計画(11/7現在)

	実施 高校数	受入 小学校数	受入 中学校数	参加人数
今年度	25	47	68	295

<内訳> 1年93名、2年164名、3年38名
2日間216名、3日間79名